



いのちと暮らしを守り 頼りにされる医療生協づくりを



2012年度総代会、全議案を満場一致で採択

さるかどした

八戸医療生活協同組合
〒031-0001
八戸市類家5-38-20
発行責任者 内田弘志
Tel.0178-71-3456

住所を変更した時は早
めにお知らせ下さい。

2012年度第24回総代会は、6月30日(土)、午前10時から八戸市総合福祉会館で開催され、理事会提案の全議案が全員の賛成で採択されました。来賓として県民医連事務局長野村美恵子さん、コープあおもり理事高橋薫さんが連帯のあいさつをしました。
役員改選では八戸医療生協創立以来はじめて理事長が交代し、定年を迎えられた竹本照彦理事長の後任に内田弘志副理事長が新理事長に選任されました。総代会アピールの採択、竹本理事長の退任のあいさつなどがあり、午後3時半に終了しました。

許されない社会保障の「二体改悪」

総代会は、午前10時、獅子内和子常任理事の開会宣言で始まりまし。



議長に清野克美さん(三中)と大上芳孝さん(館が選出され、議事が進行しました。総代会には、日本医療

福祉生協連、全日本民医連、県生協連その他各地の医療生協から多くのメッセージが寄せられました。



竹本理事長は、最後のあいさつを

行いました。竹本理事長は病院や施設からの追い出しをはじめ薬局で市販される薬を保険適用からはずす動き、介護認定における裁量範囲が狭められてきている状況などから「二体改悪」は「二体改悪」であると指

摘しました。また、原発問題にふれながら、くらし・環境・人間の存在と相いれない「原発をなくせ」の取り組みの重要性を強調しました。

五つの生活習慣で健康づくりに挑戦を

佐々木康夫健康づくり委員



長は、10月11日に「健康づくり月間」について、五つの生活習慣

慣①禁煙、②節酒、③塩分控えめ、④適度な運動、⑤適正な体重への挑戦者を募りたいと、健康づくり委員会の活動を紹介しました。

楽しい班づくりで仲間増やしを



昨年10月に6名で新班「絆」を立ち上げた湊支部の佐藤正博さんは、毎回、

医療生協について学習した後、二百円会費で軽食をとりながらカラオケなど楽しく班会を続けている。年内に4名の仲間増やしと出資金の倍増に取り組みたいと発言しました。また、いざという時の安心のために年金者組合が実施している要介護者の福祉用具利用料補助制度を紹介しました。

楽しい脳トレ班会 大館・シアセブン班

大館支部の澤田樹子さんは75歳から89歳までの7名でつくっているシアセブン



ン班の脳トレ班会活動などを紹介しました。澤田さんは、ヒロシマへ届けてほしいと班会で作った折り鶴を理事長に渡しました。

待ち遠しい・待ったなしの診療所増築と高齢者住宅

昨年度の総代会で決議した診療所増築を楽しみにしている、早期に実施をとの発言は、一中支部鈴木文夫さんと三中支部林昭子さんから出されました。年内の着工、完成が期待されます。

竹本照彦先生は引き続き診療所所長を



竹本先生には引き続き診療所所長をお願いしました。当面は八戸の地域医療に専念いただきながら、再び理事会に戻ってきてもらわなければと願っています。創立以来のご苦労に深く感謝したい



「声かけ」の取り組みを

長者支部藤井和子さんは、宮城県民医連坂総合病院で手術を受けた知人が退院後その病院から電話をもらって嬉しかったと感謝していた。医療生協も一人暮らしの患者さんや利用者さんに声をかける取り組みを要望したいと発言しました。

リハビリ職員の増員を

林昭子さん(三中)、矢代晶子さん(長者)は、通所リハビリテーションで専門のリハビリ職員(理学療法士)が一人だけでは足りないので増やしてほしいとの発言がありました。

家事代行サービスとは

ヘルパーステーションの事業方針に「家事代行サービスを具体化します」とあることから、総代会で質問が出されました。

ヘルパーは本来介護保険の中で身体介護や家事援助サービスを提供していません。その介護保険からは提供できない窓ふき、庭の手入れ、家族の洗濯や調理などを家事代行サービスと呼んで、医療生協が実施を決めることにより具体化できるものです。費用や時間など検討することになりました。

新役員のみなさん

総代会で次のみなさんが理事、監事、顧問として選任されました。任期は二年間です。

☆竹本先生、100歳まで☆



三中支部の林昭子さんは、11年度の経営実績が黒字決算になったことを評価しながら、「竹本先生には百歳まで頑張ってください」と感謝のメールをおくりました。

◇永年勤続職員表彰◇



子さんと感謝状をいただきました。理事より贈られた記念品が勤続10年の中尻に竹本理事長より

退任役員のみなさん

ありがとうございました

- 今総代会をもって退任された役員のみなさん
- 竹本照彦理事長(診療所所長)
- 大沢恵子理事(大館)
- 奈良義一理事(一中)
- 古玉辰二監事(三中)

これからもご支援ご協力をよろしくお願いたします。

今年度の健康まつりは10月14日(日)、福祉公民館・体育館に決まりました。

2011年度の経営実績から 単位・円

	2011実績	2010実績	増減
○事業収益合計	537,286,820	489,735,704	47,551,116
・医療収益	273,962,470	232,020,319	41,942,151
・介護収益	257,957,467	252,632,686	5,324,781
・その他	5,366,883	5,082,699	284,184
○事業費用合計	512,833,577	475,091,054	37,742,523
・人件費	354,786,781	326,601,531	28,185,250
・材料費	26,530,421	23,956,023	2,574,398
・委託費	24,665,295	23,544,808	1,120,487
・運営経費	74,991,273	70,532,086	4,459,187
・リース料	18,695,360	17,164,036	1,531,324
・減価償却費	13,164,447	13,292,570	-128,123
○事業利益	24,453,243	14,644,650	9,808,593
○事業外収支	-2,268,486	-3,570,349	-1,301,863
○経常損益	22,184,757	11,074,301	11,110,456
○特別収支	-100,000	-130,929	30,929
○税引前当期損益	22,084,757	10,943,372	11,141,385
○法人税等	9,153,500	5,607,200	3,546,300
○税引後当期利益	12,931,257	5,336,172	7,595,085

22,587人のみなさんが医療生協の医療・介護を

診療所



生協診療所 右はケアセンター(通所リハ施設)

◇診療所外来・在宅患者数◇

	外来	在宅
2010年度	15,885人	154人
2011年度	16,755人	186人
増減	870人	32人

※人数は実人数

◇介護事業所利用者数◇

	利用者数
2010年度	5,599人
2011年度	5,646人
増減	47人

※注：医療生協の介護事業所は、通所リハビリ、ディサービス、訪問看護、ヘルパー、小規模多機能、居宅介護支援など6事業所。人数は実人数



医療福祉生協連

地域の在宅医療拡充を

診療所の在宅診療増加の背景には自治体や大病院からの要請、紹介があります。診療所の医師と看護師の負担が加重にならないように、八戸地域全体の在宅医療体制の拡充が求められています。

生協診療所は、市内唯一の「在宅療養支援診療所」として24時間体制で在宅診療を続けていることから在宅患者数が増加の一途です。これに対応するため、10月から火曜日午後の外来診療を休診にする方針が総代会で承認されました。

火曜日の午後を「休診」に
増え続ける在宅診療へ対応

歌と踊りと涙と笑いと ケアセンター

6月27日、八戸生活と健康を守る会の有志で結成された青空一座のみなさんが、生協通所リハビリテーションを慰問。利用者のみなさんは60分のステージに大喜び。また来てね、と大好評でした。青空一座のみなさんも多くは医療生協の組合員さん。この日の旗揚げをスタートに、7月15日には二中支部第30回ふれあい昼食会(三八城公民館)に招かれています。

組合員活動あらかると



下長支部 6月10日、春のレクとして市民の森不習岳登山を楽しみました。



根城支部 6月10日、秋田県の森吉山県立公園にある太平洋小又峡トレッキングを楽しみました。



各地の施設訪問で、入所者のみなさんを大いに楽しませてくれることでしょう。

グラウンドゴルフ大会に参加しませんか

八戸医療生協理事長杯第8回グラウンドゴルフ大会を下記により開催します。健康づくりの意味を込めて初心者のみなさんも大いに参加しましょう。定員300名、個人でグループで誘って申し込みください。

- 8月18日(土) 8:30開会式
- 新井田公園 ※雨天でも行います。
- 参加費 1,000円
- 申し込み期限 7月31日までに。詳しくは医療生協本部(71-3456)へ

ノーモア・ヒロシマ/ナガサキ ノーモア・フクシマ

国民平和行進に医療生協から60名余参加



通所リハ利用者さんと大館シニアセンターのみなさんから折り鶴を佐々木さん(本部組織担当)へ託された佐々木さん(本部組織担当)



「ふるさとをかえせ」の横断幕を広げて市民にアピールする医療生協行進団。

5月6日に北海道・札文島を出発した国民平和行進は、6月7日夕、八戸市に入りました。三八教育会館から市役所前市民広場までの市中行進には組合員さんと職員が医療生協のほり旗などを持って参加し、市民に核兵器の廃絶とさような原発を呼びかけました。

心の窓

◇シリーズ・古玉晨二の辻説法⑫◇

「目は心の鏡」ともいい、大切な器官である。黄金週間も終わろうとする某日、視界がなにか薄ーとしてきた。あゝ、目が疲れたなと感じ、そのまま車に同乗していた。三日後、かかりつけの眼科を受診、検査。顔を曇らせたドクターより、出血により網膜が破壊されており、その範囲の視力が失われたとのこと託宣。一呼吸おいて「あゝ、もし脳内だったら半身不随くらいにはなっていたな」と直感。事の重大性を知った。十年前、「白内障」により、レンズを交換光のありがたさを痛感。あの世まで大丈夫と思っていたのに！ 気をとりなおす間もなく、「眼球内に薬品を注入する治療法を進めましょう」と提言あり、薬をもつかむ気持ちで賛同。一サイクル三か月かかる。今、二か月目である。無機質の「レンズ」は固定焦点ながらも、充分機能を発揮しているし、今、失われたスクリーンの再生がうまくゆくであろうかと、祈るような気持ちでいる。医療の進化を驚嘆し、それにつけても、人生を全うするにはいろんな障害があるものとも思い、再び「光」の恩恵に浴したい想いである。



瀬川祐介 介護支援専門員 皆様の希望に沿った支援を提供できるよう日々努力してまいります。



高森真紀 看護師 訪問看護を通して皆様のお役に立てるよう頑張ります。

新入職員紹介

診療所 休診日案内 (毎月最終土曜日)

7月	28日
8月	13日~ 15日 (盆休診) 25日
9月	29日